

法人（事業所）理念	・「いきいきとした子どもの豊かな未来を育む」を目標に掲げ、子どもたち一人ひとりをしっかりと受け止めたあたたかい支援を行い、子どもたちの成長の喜びを保護者様と共に感じていきたい。 ・良質な水準かつ適切な内容の療育サービスの提供を行うことにより、すべての子どもたちが健やかに成長することを目指します。いろいろなプログラムの提供を通して、子どもたち一人ひとりの将来の可能性を広げていくことを目指していく。													
支援方針	重症心身障害を持つお子様、医療的ケアがあるお子様を対象とした、児童発達支援・放課後等デイサービスの二つの機能を併せ持つ多機能型事業所です。 （１）主治医の指示と保護者の依頼・同意に基づき、吸引・経管栄養・呼吸器の管理などの医療的ケアを、看護師が実施いたします。 （２）保護者の依頼・同意に基づき、一人ひとりの状態に合わせたストレッチや歩行などの機能訓練を、理学療法士の専門職が中心となり実施いたします。 （３）五感を刺激し感性を育み、発達を促す遊びや制作活動などの様々なプログラムを児童指導員等が中心となって提供いたします。 職員が専門性と役割を持ち、全員で協力しながらお子様に最適な支援を提供します。													
営業時間	平日	10	時	0	分	13	時	30	分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	施設からご自宅まで片道30分程度の範囲

支援内容 **プログラム例**

健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時にバイタルチェックや全身状態の確認を行い、心身の状態を把握します。 ・医療的ケアが必要なお子様には、看護師が医療処置や環境整備を行います。 ・年齢や季節に応じた生活リズムや衣服、室温調整を支援し、感染症対策と安全に配慮します。 ・基本的な生活技能の習得を促すため、視覚・聴覚に配慮した言葉かけや支援を行います。 ・食事を通して「食べる力」や生活力の向上を目指し、準備や片付けも一緒にを行います。 ・障害特性や身体状況に応じて、活動・休息しやすい環境づくりを支援します。 ・季節や行事に合わせた装飾や歌で、日本の四季や文化に触れる機会を提供します。 	<ul style="list-style-type: none"> 【健康管理・医療的ケア】 ・来所時のバイタルサイン測定 ・医療的処置部位（気管切開・胃ろう等）の状態確認 ・健康状態の変化に応じた記録と保護者・医療機関との連携 ・看護師による吸引、経管栄養、導尿などの医療的ケア ・医療器具の準備・衛生管理・安全な環境整備 【感覚・認知活動】 ・絵カードや線、触覚教材を用いた身体部位の認識活動 ・音声や音楽を活用した聴覚的アプローチ ・視覚・聴覚に配慮した指示や支援（絵カード、ジェスチャー等） 【活動と休息のバランス】 ・活動・休息のバランスを考慮したスケジュール設計 	<ul style="list-style-type: none"> 【環境・衛生管理】 ・室温・湿度管理、衣類調整、定期的な換気 ・感染症予防のための手洗い・消毒・マスク着用支援 ・障害特性に応じた環境調整 ・側着・抱擁に配慮した座位保持具やクッションの使用 【生体動作の練習】 ・トイレ、着替え、手洗いなどの生体動作の練習 ・自動具の活用による食事動作の支援 ・食事の準備・片付けを通して生活力の向上 ・食事を楽しむ雰囲気づくり（音楽、会話、盛り付け） 【文化・社会性の育成】 ・季節の装飾、歌、絵本、工作などを通じた文化体験 ・行事（七夕、節分、クリスマス等）を通じた社会性の育成
運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢保持を基本に、上肢・下肢の運動や動作の改善・習得を支援し、関節の拘縮や変形への対応、筋力の維持・強化を図ります。 ・ラジオ体操や音楽に合わせた全身運動、トランポリンなどを通じて粗大運動の発達を促します。 ・就学に向けて、車椅子や座位保持椅子で安定して座る姿勢の獲得を支援します。 ・バランスボールを活用し、姿勢保持の練習を行います。 ・感覚機能に配慮した環境調整を行い、五感を十分に活用できる活動を提供します。 	<ul style="list-style-type: none"> 【姿勢保持・筋力強化】 ・バランスボールに当たって体幹を意識した姿勢保持練習 ・座位保持椅子での安定した座位練習（5～10分から徐々に時間を延長） ・上肢・下肢のストレッチや関節可動域訓練（拘縮予防） 【粗大運動の促進】 ・ラジオ体操をみんなでを行い、リズムに合わせて全身を動かす ・トランポリンでジャンプやバランス感覚の刺激 ・音楽に合わせてダンスや楽器（リズム感、協調運動の育成） 	<ul style="list-style-type: none"> 【感覚統合・環境調整】 ・感覚遊び（スライム・寒天・布など）で触覚刺激 ・音のあるアイテムや音の出るおもちゃで五感への働きかけ ・照明・音量・座る位置などを調整し、安心して活動できる環境づくり 【就学準備支援】 ・車椅子での移動練習（自走・介助の両方） ・座位保持椅子での机上活動（絵を描く・パズルなど） ・集団活動への参加（順番を守り、話を聞くなど）
認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様一人ひとりの認知特性を理解し、情報を適切に受け取り、処理・対応できる力を育みます。 ・手や足でさまざまな素材に触れるなど、感覚を育てる活動を行います。 ・「始まりの会」で絵カードを使い、日付・曜日・天気・予定を確認し、時間の見通しを持てるよう支援します。 ・季節に応じた散歩や遠足などの屋外活動を通して、自然や社会との関わりを学びます。 ・活動前に見通しのある言葉かけを行い、安心して集団活動に参加できるよう支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> 【感覚刺激活動】 ・布・紙・粘土・水などの素材に触れる感覚遊び ・足裏で芝生や砂に触れる屋外感覚体験 ・指先を使った遊びの提供 【屋外活動】 ・季節に応じた散歩（桜・紅葉・雪などの自然観察） ・公園や施設への遠足（公共マナーや社会との関わりを体験） ・外でのルールある遊び（順番・協力・安全確認） 	<ul style="list-style-type: none"> 【絵カードを使った「始まりの会」】 ・日付・曜日・天気・予定を確認し、時間の流れを意識する習慣づけ ・絵カードや写真を使って視覚的に理解しやすい環境づくり 【見通し支援と集団活動】 ・活動前に「これから〇〇をします」と言葉かけをし、安心して参加できるよう支援する ・順番待ちや役割分担を通じて集団でのルールを学ぶ ・活動後に「できたこと・楽しかったこと」を振り返る時間を設ける
言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性に応じて、表情・目線・手の動きなどの微細な表出を丁寧に読み取り、相互的なコミュニケーションを図ります。 ・サインや絵カードなどの視覚的支援を活用し、自発的な意思表出を促します。 ・他者とのやり取りを通じて、物事・現象・自身の行動に対する言語概念の理解を深められるよう支援します。 ・個々の特性に合わせたコミュニケーションツールを用い、環境の理解と意思の伝達がスムーズに行えるよう支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> 【微細な表出の読み取りと応答】 ・表情・目線・手の動きなどの小さなサインを観察し、気持ちや要求をくみ取る ・反応に対して適切に応答し、やりとりの楽しさを体験できる関わりを行う 【視覚的・身体的コミュニケーションの活用】 ・絵カードや写真、ジェスチャー、サインを使った意思表示の練習 ・「〇〇がほしい」「〇〇に行きたい」などの基本的な表現を繰り返し使う活動 【言語概念の理解促進】 ・表物や絵を見ながら「大きい・小さい」「上・下」などの概念を学ぶ ・自分の行動や周囲の出来事を言葉で表現する練習 （例：おやつの時間「食べる」「おいしい」など） 	<ul style="list-style-type: none"> 【環境理解と意思伝達の支援】 ・活動前に絵カードで予定を提示し、見通しを持って安心して参加できるよう支援 ・活動中に選択肢を提示し、「どちらがいい？」などのやりとりを通じて意思決定を促す ・活動後に「できたこと・楽しかったこと」を振り返る時間を設ける 【他者とのやりとりの体験】 ・先生や友達との簡単な質問・応答の練習（例：「何色が好き？」→「あか！」） ・絵本の読み聞かせや歌を通じた言葉のやりとり ・あいさつや「ありがとう」「どうぞ」などの基本的な社会的表現の練習
人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様が安心して過ごせる居場所を提供し、環境・人・自分への信頼感を育みます。 ・手遊びや疑似体験を通して、他者や行動の模範を促し、社会性の発達を支援します。 ・小さな成功体験を積み重ねることで、自己肯定感を育てる機会を提供します。 ・集団活動を通じて、相互理解や他者の存在を認め合い、仲間づくりにつなげます。 ・長期休暇中には外部ボランティア団体との交流を行い、地域の一人としての意識を育みます（午後まで利用可能なお子様が対象）。 ・言葉・選択・表情などを通じて、自分の気持ちや感情を他者に伝える力を育てます。 	<ul style="list-style-type: none"> 【安心できる居場所づくり】 ・好きな音楽や照明、安心できるスタッフとの関わりを通して、落ち着いて過ごせる環境を提供 ・個別スペースやお気に入りのアイテムを活用し、安心感を高める工夫 【信頼・体験活動】 ・手遊び（いないいないばあ、グーチョキパーなど）を通じた他者との模倣遊び ・疑似体験（買物ごっこ、バス乗車ごっこなど）による社会的場面の理解促進 【成功体験の提供】 ・「できた」を感じられる活動（ボタンを押す、音を鳴らす、絵を完成させる等） ・活動後に拍手や言葉で肯定される場面を意図的に設定 	<ul style="list-style-type: none"> 【集団活動による仲間づくり】 ・一緒に歌う・踊る・絵を描くなどの協働活動 ・名前を呼び合う、順番を守るなどの関わりを通して相互理解を促進 【地域交流の機会】 ・長期休暇中に外部ボランティア団体との交流イベントを実施 （午後まで利用可能な児童対象） ・地域の人とふれあうことで「社会の一員」としての意識を育む 【感情表現の支援】 ・絵カードや表情カードを使って「うれしい」「いや」などの気持ちを伝える練習 ・選択肢提示による「〇〇がいい」「〇〇はいや」などの意思表出の支援

家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連絡を密に取り、施設と家庭の情報を相互に共有できるよう努めます。 ・送迎時に施設での様子を伝え、家庭での気になる点を伺いながら、お子様の成長や課題、困りごとについて共に考え、解決に向けた支援を行います。 ・年2回の面談を通じて、保護者とじっくり話し合う機会を設け、支援の方向性を共有します。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学校進学に向けて、保護者・関係機関と連携しながら、必要な情報共有や環境調整を行い、安心して移行できるよう支援します。 ・保育園や併用利用先との連携を図り、生活リズムや支援方針の統一を意識した継続的な支援を行います。
------	---	------	---

地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・支援に関わる他事業所や関係機関と情報を共有し、支援の方向性を統一できるよう連携を図ります。 ・ボランティア団体の来訪を依頼し、地域との交流を通じて社会とのつながりを育みます。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の事業所内研修を実施し、職員間で支援の質の向上を図ります。 ・外部研修への積極的な参加を促し、最新の知識や技術の習得に努めます。 ・児童発達支援ガイドラインや療育・制度・5領域に関する資料の読み合わせを行い、支援の共通理解と専門性の向上を目指します。
-----------	---	---------	---

主な行事等	4月：春の遠足、入学・進級を祝う会 7月：夏祭り 8月：夏の遠足、保護者面談 9月：保護者面談 10月：運動会・ハロウィンパーティー 12月：クリスマス会 1月：お正月遊び・保護者面談 2月：節分・保護者面談 3月：ひな祭り その他：避難訓練（月1回）、お誕生日会									
-------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--